

1 題材名 「発見！自然物の新たな美しさ」

2 課題の目標

- 自然物の形や色彩の特徴や美しさなど表現することに関心をもち、主体的に構想を練り、表現しようとする。 (美術への関心・意欲・態度)
- 自然物の形や色彩の美しさなどを基に主題を生み出し、形や色彩の効果を生かして表現の構想を練る。 (発想や構想の能力)
- 用具や絵の具の使い方や特性を理解し、意図に応じて用具の生かし方を考え、創意工夫して表現する。 (創造的な技能)
- 自然の造形や他者の作品についての理解や見方を広げ、そのよさや美しさを味わう。 (鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 指導観

本題材は、自然物の形や色彩のよさや美しさなどを基に主題を生み出し、平面構成で表現する活動である。中学校学習指導要領解説美術編の第1学年A表現(1)アには、「対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出すこと」とあり、美しさなどを感じ取る感性は、中学生の時期に培われる大切なものであると述べられている。自然物を観察し、そこから美しさを見出すという活動の経験は、生徒によって個人差がある。本題材では、見る方向を変えてみたり、光を当ててみたり、肌触りを確かめたり、匂いを嗅いだりという活動から得られる発見があることを実感させたい。そして、普段の生活の中で気付くことがなかった自然物や風景やものなどに関しても、形や色彩、空間の広がりなどに注目して、よさや美しさなどを感じ取るきっかけになるようにしたい。

(2) 生徒の実態

第1学年の生徒は、1学期に体育館シューズを用いて、鉛筆デッサンを行った。画材としての鉛筆の特性に気付き、ものを丁寧に観察しながら描くことの楽しさを感じることができた。また、構図を考え、その配置の仕方で見方が変わってくることも学んでいる。今回は、見たものをそのまま描くという活動から一歩踏み込み、発見した形を強調したり省略したりして自分なりの形をつくり出す活動をするが、観察したことから作品をつくるという方法を学習し、今後の美術の授業での制作に生かせるようにしたい。

また、着彩となると、苦手意識が強いのが現状である。今回の、自然物を描くという課題を通して、自然物の美しさに触れるとともに、その生き生きとした形や色彩を平面構成で表現することを通して、色彩を効果的に使った表現の楽しさを味わうきっかけとしたい。

(3) 題材観

日常の見慣れた生活場面にも季節ごとの風景や植物、果物、野菜など、中学生にとっても親しみ深い題材がたくさん考えられる。題材の導入段階で、自然の造形のよさや美しさを感じ取り、発想を広げるために実物を観察する活動を行う。また、デザイン画の経験が少ない生徒にとって、表したい感じを表現するために、基本的な色の性質や画面構成について学ぶことは、今後の制作のためにもよい機会になると考える。さらに、デザインセットやアクリルガッシュを使っての本格的な制作は本題材が初めてなので、実践を通して使い方や特性を理解できるように指導する。

4 題材の評価規準

観点	美術への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
評価規準	<p>表現 関① 自然物の形や色彩の特徴や美しさなどを表現することに関心をもち、主体的に構想を練り、表現しようとしている。</p> <p>鑑賞 関② 作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに関心をもち、主体的に感じ取ろうとしている。</p>	<p>発① 自然物の形や色彩の効果を生かして単純化や省略、強調を用い、創造的な構成を工夫している。</p> <p>発② 対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、形や色彩を生かして、構成を創造的に工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p>	<p>創① 用具や絵の具の使い方や特性を理解し、意図に応じて用具の生かし方を考え、創意工夫して表現している。</p> <p>創② 表現方法の特性などから制作の手順などを総合的に考え、見通しをもって表現している。</p>	<p>鑑① 自然物の特徴的な形や色彩に気付き、自分の価値意識をもって、そのよさや美しさを味わっている。</p> <p>鑑② 作者の意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。</p>

5 指導計画 (10 時間扱い)

次	時	学習内容・学習活動	評価の観点				指導上の留意点・評価方法
			関	発	技	鑑	
1	0.5	<p><課題の把握と鑑賞></p> <ul style="list-style-type: none"> 風景や自然物の拡大画像を見て意見を述べ合う。 身の回りにある自然の造形について観察し、意見を述べ合い、ワークシートに記入する。 	① ②			①	<ul style="list-style-type: none"> 風景の画像をスクリーンに映す際、生徒の素直な意見を拾い上げるようにする。 拡大した自然物を、普段は見ない方向から、クイズ形式で映し出すことで、興味をもてるようにする。(観察・発言内容・ワークシート)
2	2.5 (本時)	<p><観察とスケッチ></p> <ul style="list-style-type: none"> 自然物の形や色彩の美しさを感じながら、その特徴が表れるようにスケッチする。 <p><表現の発想・構想></p> <ul style="list-style-type: none"> スケッチを基に単純化や省略、強調を用い、形づくりを行う。 			①	①	<ul style="list-style-type: none"> 観察することで気付いた形や色、感触を大切にしながらスケッチするように助言する。(ワークシート・作品制作の様子) それぞれの形の特徴をとらえながら形づくりを行うように助言する。(ワークシート・作品制作の様子)
3	4 5 9	<p><制作></p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な画面構成と色相などを学ぶ。 主題を基にワークシート、アイデアスケッチなどにより、構想をまとめる。 基本的な構成を生かしながら着彩する。 			②	① ②	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの構成や色相に、どんな効果があるのか、理解できるようにする。(制作の様子、作品) 主題を表現するための構成、形や色彩を工夫して構想が練れているか確認するように助言する。(ワークシート・制作の様子) 制作の手順などを総合的に考えながら、見通しをもって着彩できるように指導する。(制作の様子、作品)
4	10	<p><鑑賞会を行う></p> <ul style="list-style-type: none"> グループ内で鑑賞をし合いその後、全体で鑑賞する。 	②			②	<ul style="list-style-type: none"> 自然物の美しさやよさについて気付いたこと、その表現の工夫などを発表するようにする。(ワークシート、発言内容)

6 本時の指導

(1) 目標

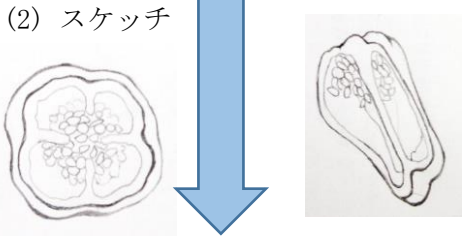
- 自然物の形や色彩の美しさを感じ、その特徴について、鉛筆や色鉛筆の生かし方を考えながらスケッチをする。 (創造的な技能)
- 自然物の特徴的な形や色に気付き、そのよさや美しさを味わう。 (鑑賞の能力)

(2) 準備・資料

【教員】 プロジェクター、パソコン、カメラ9台、無線LAN搭載SDカード、ワークシート、包丁、色鉛筆、まな板、新聞紙、参考作品

【生徒】 4B鉛筆、教科書、資料集、ワークシート、美術ノート

(3) 展開

学習内容・活動	指導上の留意点・評価 (◎)
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 自然物のよさや美しさを発見し、工夫して表現しよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動の流れを確かめる。 <p>2 自然物を切断し、観察・スケッチする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに鉛筆と色鉛筆でスケッチする。 ・カメラで気に入った自然物の形を撮影する。 <p>(1) 観察 色, 形, 手触り, 臭いなど</p> <p>(2) スケッチ</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 自然の造形物の新たな美しさの発見 </div> <p>3 鑑賞と活動のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の自然物の造形を鑑賞する。 ・スケッチした作品を鑑賞し、ポイントを確認する。 ・自然物から発見したことを発表する。 ・クラス全体のスケッチの進捗を確認する。 ・次時の活動内容を知る。 <p>4 後片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美術ノートを配付しておき、スムーズに授業が始められるようにする。 ・画像を使い、自然の風景の美しさに触れ、自由に発言するように助言する。 ・自然物の拡大画像を見せる。クイズ形式にし、多くの意見が出るようにする。 ・スケッチを全体で6方向から描くこと、本時では切断面2方向を描くことを目標にすることを伝える。 ・包丁の使い方を確認する。 ・新たに発見した形や「いいな。」「素敵だな。」と思った形はカメラでとって保存するように説明する。 ・切断面は2方向からスケッチをするために、同じ自然物を描く生徒で分担し、一度切ったものを、方向を変えてスケッチするように助言する。 ・線が複数になり、形が分かりにくくなっている生徒には、1本の線をしっかり描くよう助言する。 ・生徒が満足いくまでスケッチできるよう、遅れている生徒には積極的に支援する。 ・スケッチが終わらない生徒はカメラで撮影し、記録しておくように助言する。 ・教室を回りながら、グループごとにベストな1枚を確認しておく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ◎ 用具や絵の具の使い方や特性を理解し、意図に応じて用具の生かし方を考え、創意工夫して表現している。 (創造的な技能) (観察・ワークシート) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の撮影した画像をプロジェクターで写し取り、他生徒の自然物についても鑑賞する機会をつくる。 ・生徒のワークシートをカメラで撮影し、拡大してポイントを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ◎ 自然物の特徴的な形や色彩に気付き、自分の価値意識をもって、そのよさや美しさを味わっている。 (鑑賞) (観察・ワークシート) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・描き終わらなかった生徒に対し、カメラ撮影して残すように最終確認する。 ・次の時間はスケッチを基に形づくりをすることを伝え、活動への意欲をもたせるようにする。 ・振り返りノートの活用を通して、生徒自らが目標の実現状況を評価できるようにする。